

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月29日

上場取引所 東 大

上場会社名 三洋化成工業株式会社

コード番号 4471 URL <http://www.sanyo-chemical.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家永 昌明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員総合事務本部長 (氏名) 本庄 政昭

TEL 075-541-6153

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	87,226	17.0	4,606	110.5	4,642	83.4	1,946	811.7
21年3月期第3四半期	105,061	—	2,188	—	2,532	—	213	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	17.64	16.33
21年3月期第3四半期	1.93	1.79

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	136,716	82,290	58.5	724.36
21年3月期	123,901	78,557	61.7	693.00

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 79,917百万円 21年3月期 76,465百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	7.50	—	5.50	13.00
22年3月期	—	5.50	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.50	11.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	118,000	13.7	5,300	727.6	5,500	—	2,400	—	21.75

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

新規 ― 社 (社名) 除外 ― 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ[定性的情報・財務諸表等]4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更 無

以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	117,673,760株	21年3月期	117,673,760株
-------------------	-------------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数	22年3月期第3四半期	7,345,381株	21年3月期	7,335,106株
---------	-------------	------------	--------	------------

期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	110,333,180株	21年3月期第3四半期	110,350,173株
--------------------	-------------	--------------	-------------	--------------

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成21年10月26日発表の通期業績予想を平成22年1月25日付で上方修正しております。

上記の予想は発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、4ページをご参照下さい。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(4月～12月)におけるわが国経済は、政府の経済対策の効果もあり、景気持ち直しの兆しが見られるものの、雇用情勢の悪化を受け個人消費が低迷するとともに設備投資も低水準で推移するなど、依然として厳しい状況が続いています。

化学業界におきましても、需要は回復傾向にあるものの原燃料価格や為替の動向は不透明であり、経営環境は厳しい状況にあります。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、金融危機後の急激な需要の落ち込みからは回復しつつあるものの製品価格の低下により、872億2千6百万円(前年同期比17.0%減)にとどまりました。

利益面では、前連結会計年度は一昨年秋以降、売上高が急激に減少したのに対し、当連結会計年度は売上高が持ち直しつつあり、原燃料価格も前年同期と比べ低水準で推移するとともに、不況対策を継続しグループをあげてコストダウンにつとめた結果、営業利益は46億6百万円(前年同期比110.5%増)、経常利益は46億4千2百万円(前年同期比83.4%増)となりました。

さらに、株価下落により投資有価証券評価損(4億4千5百万円)を計上しましたが、純利益も19億4千6百万円(前年同期比811.7%増)となり、前年同期比ではいずれも大幅増益となりました。

売上高の主な分野別状況(注)は次のとおりであります。

(注)当社グループの事業内容をより一層ご理解いただけるよう、当連結会計年度より、従来の化学的組成に基づく製品分類から、当社グループ製品が使用される用途に基づく製品分類に変更しております。

なお、分野別売上高の対前年同期比伸び率は、前年度の数値を新分類に組み替え算出したものです。

<生活・健康産業関連>

生活産業関連分野は、洗剤用界面活性剤が液体洗剤の本格的な普及により、また、ポリエチレングリコールも輸出の増加により堅調に推移しましたが、その他は低調な売上高となりました。

健康産業関連分野は、高吸水性樹脂が、国内外で紙おむつなどの継続的な需要の増加により、販売数量は好調に推移しましたが、価格低下の影響で売上高は横ばいにとどまりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は328億6千3百万円(前年同期比6.9%減)となりました。

<機械・輸送機産業関連>

機械・輸送機産業関連分野は、第3四半期に入って自動車シートなどに使われる新規高機能ポリウレタンフォーム原料がその特徴を生かして売り上げを伸ばしたことや、自動車内装表皮材用ウレタンビーズや汎用ポリウレタンフォーム原料の需要の回復はありましたが、第2四半期までの不振を挽回できず大幅に売上高が減少しました。

潤滑油添加剤は自動車メーカーの省燃費対応によりC V T(無段変速機)の採用が進み、本用途の潤滑油添加剤や同じく省燃費対応のエンジンオイル用には需要が拡大し売り上げを伸ばしましたが、全体としては自動車減産の影響もあり、低調な売上高となりました。

以上の結果、当分野全体の売上高は187億2千3百万円(前年同期比26.3%減)となりました。

<プラスチック・繊維産業関連>

プラスチック産業関連分野は、電子部品搬送トレーなどに使用される永久帯電防止剤が中国・韓国など海外での需要の増加により売上高が堅調に推移しましたが、合成樹脂着色用の顔料分散剤は価格低下の影響などで低調な売上高となりました。

繊維産業関連分野は、自動車用エアバッグ、シートベルト等の産業資材用繊維薬剤やガラス繊維用接着剤が自動車減産の影響により、また、炭素繊維用薬剤も需要の停滞により売上高が減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は114億5百万円(前年同期比15.7%減)となりました。

<情報・電気電子産業関連>

情報産業関連分野は、重合トナー中間体用ポリエステルビーズや粉碎トナー用バインダーがコピーの削減等による需要減少の影響により、低調な売上高となりました。

電気電子産業関連分野は、シリコンウエハ製造用薬剤が海外、特に中国向け需要の急減により、また、アルミ電解コンデンサ用電解液も家電業界の不況の影響を受け、売上高が減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は135億1千4百万円(前年同期比19.8%減)となりました。

<環境・住設関連・その他>

環境関連分野は、カチオンモノマーが拡販により売り上げを伸ばしましたが、カチオン系高分子凝集剤は製紙業界の減産などにより低調に推移し、売上高は微減となりました。

住設関連分野は、住宅用断熱材に用いられるポリウレタンフォーム原料や建築シーラント用原料が住宅建設の低迷により売上高が大幅に減少しました。

以上の結果、当分野全体の売上高は107億1千9百万円(前年同期比23.2%減)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期の財政状態は以下のとおりであります。

当第3四半期末の総資産は、売上高の回復や不況対策の効果により現預金や売掛金が増加したほか、株価上昇に伴う投資有価証券の増加などにより、前連結会計年度末に比べて128億1千4百万円増加し1,367億1千6百万円となりました。

純資産は前連結会計年度末に比べて37億3千3百万円増加し822億9千円となりましたが、自己資本比率は総資産の伸びが自己資本の伸びを上回った結果、前連結会計年度末に比べ3.2ポイント低下し58.5%となりました。

当第3四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末残高と比較し45億2千4百万円増加し、115億5千6百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は、161億7千6百万円（前年同期は63億4千1百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益40億2千4百万円、減価償却費59億4千5百万円、仕入債務の増加105億8千万円などによる資金の増加が、売上債権の増加59億3百万円等による資金の減少を上回ったことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は、90億4千2百万円（前年同期は72億7千万円の減少）となりました。これは、衣浦分工場における用地取得9億2千3百万円を含め、固定資産の取得に70億1千1百万円支出するとともに、定期預金へ20億1千5百万円預入したことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により資金は、24億7千万円減少（前年同期は16億8千7百万円の減少）しました。これは、配当金の支払12億8百万円、長期借入金の返済8億9千1百万円などによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後とも原料の値上りや円高の影響が懸念されるものの、第3四半期累計業績が想定以上の需要回復による増収効果やグループをあげてのコストダウン等により予想を上回るとともに、引続き需要は堅調に推移することが想定されることより、平成22年1月25日付の「平成22年3月期業績予想の修正に関するお知らせ」にて、次の通り通期業績予想を上方修正しております。

（通期）	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	111,500	4,200	4,000	1,700	15.41
今回修正予想（B）	118,000	5,300	5,500	2,400	21.75
増減額（B - A）	6,500	1,100	1,500	700	-
増減率（%）	5.8	26.2	37.5	41.2	-
前期実績	129,555	640	498	2,400	21.75

なお、業績予想は発表日時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

4. その他

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

（3）四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,571	7,031
受取手形及び売掛金	35,072	29,225
商品及び製品	8,032	7,929
半製品	2,914	3,341
仕掛品	168	207
原材料及び貯蔵品	3,064	2,805
繰延税金資産	1,094	1,086
その他	622	1,231
貸倒引当金	△25	△22
流動資産合計	64,516	52,835
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,691	14,248
機械装置及び運搬具（純額）	20,088	22,195
土地	8,534	7,604
建設仮勘定	6,023	4,760
その他（純額）	1,413	1,804
有形固定資産合計	49,751	50,614
無形固定資産		
ソフトウェア	480	483
のれん	214	342
その他	292	234
無形固定資産合計	987	1,060
投資その他の資産		
投資有価証券	19,524	16,458
長期貸付金	5	9
繰延税金資産	910	1,917
その他	1,079	1,063
貸倒引当金	△59	△57
投資その他の資産合計	21,460	19,391
固定資産合計	72,199	71,066
資産合計	136,716	123,901

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,904	13,342
短期借入金	3,197	3,339
1年内返済予定の長期借入金	991	1,091
未払費用	2,566	1,993
未払法人税等	1,225	93
賞与引当金	887	1,212
役員賞与引当金	36	41
設備関係支払手形	2,047	3,283
その他	1,331	1,616
流動負債合計	36,187	26,013
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	2,134	2,946
退職給付引当金	4,385	4,648
役員退職慰労引当金	908	887
その他	809	848
固定負債合計	18,238	19,330
負債合計	54,425	45,344
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,051	13,051
資本剰余金	12,194	12,194
利益剰余金	58,419	57,686
自己株式	△5,680	△5,675
株主資本合計	77,984	77,257
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,410	674
為替換算調整勘定	△1,478	△1,466
評価・換算差額等合計	1,932	△792
少数株主持分	2,373	2,092
純資産合計	82,290	78,557
負債純資産合計	136,716	123,901

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	105,061	87,226
売上原価	88,814	69,486
売上総利益	16,246	17,739
販売費及び一般管理費	14,058	13,132
営業利益	2,188	4,606
営業外収益		
受取利息	69	28
受取配当金	334	270
持分法による投資利益	305	—
不動産賃貸料	264	271
その他	38	96
営業外収益合計	1,012	667
営業外費用		
支払利息	233	193
持分法による投資損失	—	163
不動産賃貸原価	78	70
たな卸資産廃棄損	68	68
為替差損	273	98
その他	16	38
営業外費用合計	669	631
経常利益	2,532	4,642
特別利益		
投資有価証券売却益	—	31
特別利益合計	—	31
特別損失		
前期損益修正損	3	—
固定資産除却損	111	155
固定資産売却損	—	8
関係会社株式評価損	966	—
投資有価証券評価損	238	445
貸倒引当金繰入額	—	2
過年度特許実施料	—	38
特別損失合計	1,320	649
税金等調整前四半期純利益	1,211	4,024
法人税等	954	1,518
少数株主利益	43	559
四半期純利益	213	1,946

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,211	4,024
減価償却費	6,174	5,945
固定資産除却損	111	155
のれん償却額	142	128
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1	5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△795	△325
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△323	△263
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△255	21
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1	△5
受取利息及び受取配当金	△404	△299
支払利息	233	193
持分法による投資損益 (△は益)	△305	163
固定資産売却損益 (△は益)	—	8
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△31
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,205	445
その他の営業外損益 (△は益)	64	△122
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,251	△5,903
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,080	126
その他の資産の増減額 (△は増加)	△99	△22
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,208	10,580
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△126	157
その他の負債の増減額 (△は減少)	133	785
小計	6,842	15,766
利息及び配当金の受取額	813	350
利息の支払額	△224	△203
その他	170	144
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,259	119
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,341	16,176
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△2,015
有価証券の償還による収入	100	—
固定資産の取得による支出	△7,094	△7,011
固定資産の売却による収入	—	7
投資有価証券の取得による支出	△134	△35
投資有価証券の売却による収入	4	67
貸付けによる支出	△343	△1
貸付金の回収による収入	407	57
その他	△209	△110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,270	△9,042

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額 (△は減少)	—	△106
短期借入れによる収入	4,479	—
短期借入金の返済による支出	△3,496	—
長期借入金の返済による支出	△829	△891
自己株式の売却による収入	8	0
自己株式の取得による支出	△15	△5
配当金の支払額	△1,649	△1,208
少数株主への配当金の支払額	△185	△259
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,687	△2,470
現金及び現金同等物に係る換算差額	△199	△139
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,815	4,524
現金及び現金同等物の期首残高	11,482	7,031
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	145	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,811	11,556

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

当社及び連結子会社は、製品の種類・性質、製造方法、販売市場等の類似性から判断して、同種の化学品を専ら製造販売しているので、事業の種類別セグメント情報は記載しておりません。

〔所在地別セグメント情報〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	92,063	3,750	7,979	1,267	105,061	-	105,061
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,529	3	291	-	3,824	3,824	-
計	95,592	3,754	8,270	1,267	108,886	3,824	105,061
営業利益(又は営業損失)	2,772	369	217	74	2,111	76	2,188

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	米国	中国	その他の地域	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	76,538	2,525	7,216	947	87,226	-	87,226
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,739	0	388	-	3,128	3,128	-
計	79,277	2,525	7,604	947	90,354	3,128	87,226
営業利益(又は営業損失)	3,933	259	873	21	4,526	80	4,606

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	（うち中国）	アメリカ	その他の地域	計
海外売上高	18,114	(9,677)	8,753	6,073	32,941
連結売上高	-	-	-	-	105,061
連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	17.3	(9.2)	8.3	5.8	31.4

当第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）（単位：百万円）

	アジア	（うち中国）	アメリカ	その他の地域	計
海外売上高	16,086	(9,083)	7,597	6,181	29,864
連結売上高	-	-	-	-	87,226
連結売上高に占める 海外売上高の割合（％）	18.4	(10.4)	8.7	7.1	34.2

（注）１．海外売上高は、当社（単体）および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

２．国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

３．各区分に属する主な国または地域

（１）アジア：韓国、中国、インドネシア、インド、タイ 他

（２）アメリカ：米国、メキシコ、ブラジル 他

（３）その他の地域：オーストラリア、ヨーロッパ、ロシア、中近東 他

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

補足情報

四半期ごとの業績推移

1. 連結

前年度

(単位: 百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	第2四半期 (平成20年7月～9月)	第3四半期 (平成20年10月～12月)	第4四半期 (平成21年1月～3月)	累計 平成21年3月期
売上高	34,492	36,554	34,014	24,494	129,555
売上総利益	5,698	5,804	4,744	2,425	18,672
営業利益	975	1,013	200	1,548	640
経常利益	1,127	1,191	213	2,033	498
四半期(当期)純利益	577	627	992	2,613	2,400

当年度

(単位: 百万円)

	第1四半期 (平成21年4月～6月)	第2四半期 (平成21年7月～9月)	第3四半期 (平成21年10月～12月)	伸び率(%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	26,542	28,829	31,854	6.4	10.5
売上総利益	5,084	5,812	6,842	44.2	17.7
営業利益	857	1,389	2,359	1,079.6	69.8
経常利益	1,037	1,123	2,480	1,062.8	120.8
四半期純利益	393	477	1,075	-	125.0

2. 単体

前年度

(単位: 百万円)

	第1四半期 (平成20年4月～6月)	第2四半期 (平成20年7月～9月)	第3四半期 (平成20年10月～12月)	第4四半期 (平成21年1月～3月)	累計 平成21年3月期
売上高	25,747	27,285	23,853	16,141	93,027
売上総利益	4,271	4,681	3,442	1,095	13,490
営業利益	774	1,065	91	1,862	69
経常利益	1,396	1,458	139	1,388	1,605
四半期(当期)純利益	899	995	851	848	195

当年度

(単位: 百万円)

	第1四半期 (平成21年4月～6月)	第2四半期 (平成21年7月～9月)	第3四半期 (平成21年10月～12月)	伸び率(%)	
				前年同期(3Q)比	前四半期(2Q)比
売上高	18,813	19,717	22,509	5.6	14.2
売上総利益	3,492	3,929	4,695	36.4	19.5
営業利益	310	625	1,344	1,362.4	115.0
経常利益	732	927	1,757	1,157.8	89.4
四半期純利益	509	686	792	-	15.4